

山鳥場遺跡

現地説明会資料

(一財)長野県文化振興事業団長野県埋蔵文化財センター

1. はじめに

長野県埋蔵文化財センターでは、県道御馬越塩尻(停)線建設に伴い、昨年度から山鳥場遺跡の発掘調査を行っています。2カ年におよぶ調査で縄文時代中期(約4,500年前)の竪穴建物跡を13軒検出しました。今年度は遺跡から出土した土器の胎土の中にエゴマ、ダイズ、アズキなどの種の跡が含まれることが確認され、松本盆地における縄文時代の植物利用を検討する上で貴重な発見となりました。

2. 調査の概要

- 所在地 朝日村西洗馬 1435-1 ほか
- 調査面積 2,550 m² (28年 1,400 m²・29年 1,150 m²)
- 調査期間 平成 28年 7月～11月、29年 4月～11月
- 遺跡立地 鎖川の支流である内山沢が形成した扇状地に立地



縄文時代中期の土器(約4,500年前)

発見された遺構と遺物(昨年度成果を含む)

遺構 竪穴建物跡15軒(縄文時代中期13軒、後期1軒、時期不明1軒)

土坑約130基(縄文時代中期)

遺物 縄文時代の土器・石器・土偶・耳飾りなど

注目遺物 種の跡が見られる土器(エゴマ・ダイズ・アズキ)

3. 西洗馬周辺の縄文時代遺跡

朝日村には縄文時代の遺跡が21ヶ所存在します。西洗馬地区周辺では7ヶ所確認されており、内山沢両岸に集中するのが特徴です。山鳥場遺跡内でも流路が発見されており、縄文時代の内山沢支流の可能性もあります。縄文時代の人たちが水を確保しやすい場所を選んで住んだのかもしれません。

一方、山鳥場遺跡をはさんで鎖川の北側に位置する熊久保遺跡では竪穴建物が100軒以上確認され、山鳥場遺跡と同じ時期にも集落が存在したと考えられます。今後、両遺跡を比較検討することで朝日村の縄文時代の様子がより明らかにできると考えています。



西洗馬周辺の縄文時代遺跡 1:50000 国土地理院『塩尻』
○が遺跡範囲

4. 主な出土遺物

《縄文時代中期後半の土器》

山鳥場遺跡では、縄文時代中期後半(約4,500年前)の土器がたくさん出土しました。粘土紐でつくる渦巻きや唐草、直線、曲線のモチーフの間に沈線を描くのが特徴です。

この土器は、唐草文土器と名が付けられており、中信地方を中心に地元でつくられた土器です。朝日村では、熊久保遺跡でも同じ土器が出土しています。



山鳥場遺跡出土の唐草文土器

《種の跡が見られる唐草文土器》

土器の表面や裏面にくぼみが残るものがあります。その正体を確かめるため、くぼみのレプリカをシリコンで作し、走査型電子顕微鏡で観察しました。その結果、くぼみはエゴマ、ダイズ、アズキの跡とわかりました。



エゴマの跡が残る土器のX線写真

(小さな黒い点がエゴマの跡、直径2～3mm 長野県立歴史館の協力による撮影)

左の写真は、エゴマの跡が残る土器のX線写真です。エゴマの跡は、土器の表面や裏面のほか、内部にも見られることから、エゴマをたくさん混ぜた粘土で作られたと考えられます。



エゴマのレプリカの拡大写真

最近の研究では、エゴマ、ダイズ、アズキは、縄文時代中期後半(約4,500年前)にはすでに栽培されていたと考えられていますが、栽培の方法についてはまだわかっていません。



《石器（縄文時代中期後半：約4,500年前）》

※各石器の点数は28年度に出土した数です



せきぞく
石鏃 19点

黒曜石やチャートなど、
割れ口が鋭い石材を使っています

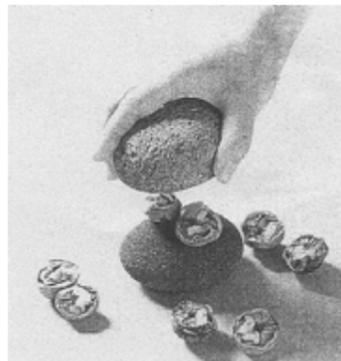


だせいせきふ
打製石斧 14点

土掘り具と考えられています



くほみいし
凹石 30点



凹石のつかいかた

『縄文人の一生』（長野県立歴史館
1996）より



よこぼがたせつき
横刃形石器 20点

刃部

薄く割った破片の一端を加工し、角度を付けています。刃部と考えられます。

遺跡近くの河原石を材料にしているようです。

山鳥場遺跡 縄文時代中期遺構配置図

※図中の数字は竪穴建物跡の番号です



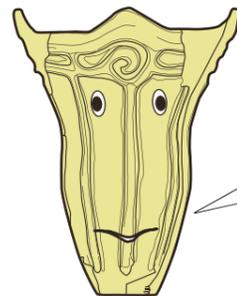
4 完掘した竪穴建物跡

エゴマの跡がみられる土器
出土地点

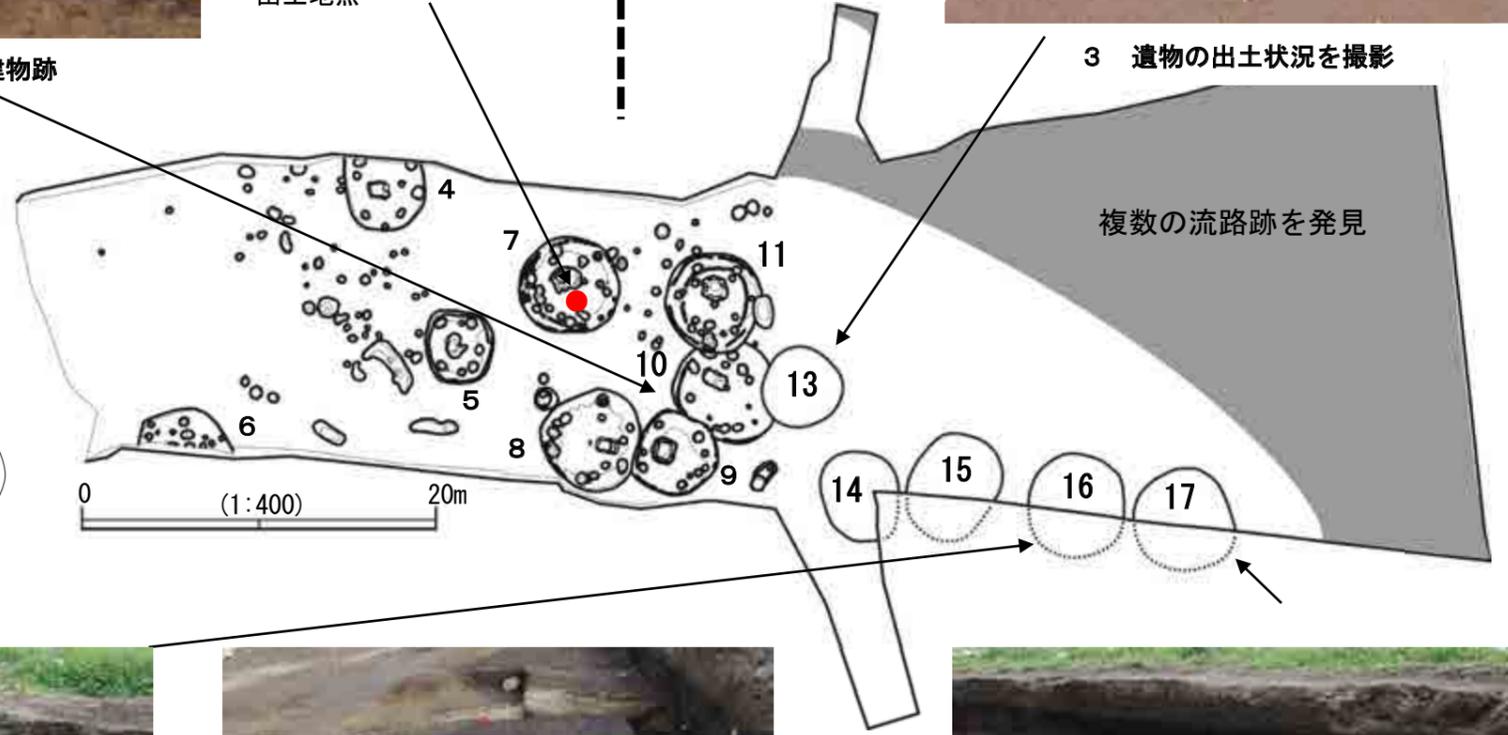
公開区域



3 遺物の出土状況を撮影



僕の仲間も
たくさん
出土したよ



2 竪穴建物跡内における土の堆積状況を確認



→部分の堆積状況



黒色土の範囲が竪穴建物跡です

1 竪穴建物跡の範囲を確認

《土製品》

土 偶：縄文時代中期後半 10点

耳飾り：縄文時代晩期初頭 9点

土偶は、胴部の渦巻文様や逆ハート形のお尻が特徴的です。約4,500年前、松本平一帯で制作されていた土偶と類似しています。

耳飾りは、文様のあるものがないものがあり、大きさも大小様々です（直径約1~4.5cm）。耳たぶに穴をあけ、ピアスのように着用したと考えられます。



縄文時代中期後半の土偶（約4,500年前）



お尻



縄文人も
オシャレなのね



縄文時代晩期の耳飾り（約3,000年前）